

# 教科等研究会（小学校図工部会） 令和2年度 研究活動のまとめ

## 1 研究テーマ

みんなで楽しく  
「見つめ・感じ・つくりだす」授業づくり

## 2 研究経過

第1回			第2回			第3回		
7/6	30人	広安西小学校	11/19	広安西小学校	理論研修会	1/22	広安西小学校	野口良美教諭

## 3 研究の概要

### (1) 研究の内容

#### ① テーマについて

本年度の上益城郡教科等研究会全体テーマ「児童生徒一人ひとりが輝く『分かる・できる』『楽しい』授業づくり」を受け、昨年度設定したテーマをさらに継続して研究を進めていくことにした。図画工作科の目標は、「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成すること」を目指している。しかし、図画工作科の授業において、「不器用だ」「不得意だ」と苦手意識を持って過ごす子どももいる。そのような子どもたちも全員が参加でき、理解し、習得し、活動していくことができるようにすることが求められる。そのため、授業のUD化の視点を持ち、「焦点化」「視覚化」「共有化」を図り「みんなで楽しく『見つめ・感じ・つくりだす』図画工作科の授業づくり」を研究していくこととした。

また、『分かる・できる』『楽しい』授業づくりのためには、児童が興味を持つ教材・教材との出会わせ方や全員が参加できるための手立て、児童それぞれの見方や考え方が生かされる手立てを研究していく必要があると考えた。さらに、それらに役立てるためのICTを有効に活用する場面や方法を研究していきたいと考えた。

#### ② 理論研修

本年度は、コロナウィルス対策の観点から、例年行っていた実技研修に代えて理論研修を行った。

理論研修会では、熊本県教育センターの高森指導主事をお招きし、「鑑賞の授業づくり」について講話をしていただいた。「1 学習指導要領について」と「2 鑑賞指導の基本」の内容についての講話をいただき、その後、数名ずつに別れ、講話の内容についてグループ討議を行い、自分の実践を紹介し合った。講話では、小学校の学習内容を中心に新指導要領についての解説と児童生徒の作品を例に挙げながら鑑賞指導の基本的な流れや、評価についての具体例が紹介された。以下は、講話の内容の一部である。



高森指導主事による講話

## 鑑賞指導の留意点

- ①教師の価値観をおしつけない。
- ②知識を学習するだけにならない。
- ③児童が対象をよく見て、感じ、思いをめぐらすことで自分の新しい価値観を産み出させるようにする。
- ④美術作品や優れた作品に多く触れさせ、そのよさや美しさなどを感じ取らせる。
- ⑤言語活動を効果的に活用し、自他の意見などを交わすことで、思考を深める。

## 鑑賞の授業の進め方

- ①作品の選定
- ②静かにじっくり見る  
○ICTの活用 ○学習室の工夫
- ③3つの問いかけ  
「この作品の中で、どんな出来事が起きているでしょうか。」  
「どこから、そう思ったのかな。」  
「なるほど。もっと発見はありますか。」



児童作品の評価の例



グループ討議をする会員

鑑賞の授業では、児童それぞれの見方や考え方が深い学びにつながることから、言語活動の充実を図ることが重要であることが、会員間で再認識された。

グループ討議では、身近にある本物の美術作品を使っの授業や古墳などの遺跡を題材にした鑑賞、描画の技術の上手下手という概念を壊す鑑賞の授業などが紹介された。実践交流を通して鑑賞の授業に対する意欲が高まった会員が多かった。

今回の理論研修を通して、児童の作品の評価については、「今まで、子どもたちの作品について話したり理解しようとする意識が足りなかったのではないかと思います。作品についてもっと話しを聞き理解していきたい。」「評価は常に悩みの種だったが、成果物の評価に偏らないよう対話を通して、途中段階をしっかりと見取っていくことを心掛け適切な評価につなげたい。」との感想が寄せられた。また、鑑賞の授業づくりについては、「鑑賞の授業づくりのポイントを知ったことで、自分の授業を振り返ることができた。」「自分との対話、言語活動などが充実できるよう実践を重ねていきたい。」「基本的な鑑賞の授業の流れなど勉強になった。」「今まで、なかなか対話的な学びを行えていなかったもので、今後の授業改善に生かしていきたい。」などの声が寄せられた。

### ③ 研究授業

例年は、小学校・中学校各校から1回ずつ研究授業を行うが、本年度は、中学校からのみ、ビデオ視聴による研究授業を予定した。しかし、教科等研第3回が中止になったため、会員に配り意見を寄せていただく形で研究授業に代えて行った。

御船中学校 野口 良美 教諭 第1学年3組 美術  
「日本の美」～御船町の四季をイメージしたオリジナル和菓子を作ろう～

## (2) 成果と課題

- 理論研修では、「鑑賞の授業づくり」を中心にして、新学習指導要領や評価について再確認し、理論と実践とを結びつけるよい機会になった。
- 時間は短かったが、鑑賞の授業について絞って研修をすることで、有意義な研修をすることができた。また、実践を交流することで、鑑賞の授業へ意欲が高まった。
- △ 本年度は、小学校での研究授業ができなかったため、学習構想案についての研究が不十分である。来年度に向けて、図画工作科の学習構想案について研究を深めていきたい。
- △ 令和4年度の県大会に向けて、新学習指導要領を受けての授業づくりや実践をさらに進めていきたい。

#### 4 実践事例

- (1) 【中学校での研究授業】 御船中学校 野口 良美 教諭 第1学年3組  
美術科「日本の美」～御船町の四季をイメージしたオリジナル和菓子を作ろう～
- (2) 学習構想案 (抜粋)

##### 1 題材構想

題材名	日本の美～御船町の四季をイメージしたオリジナル和菓子を作ろう！～		
題材の目標	和菓子の形や色彩の美しさに関心を持ち、地域のよさや四季の美しさなどの自分が表したいイメージをもとに、構想を練り、創意工夫して表すことができる。		
題材の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	色彩や形などを工夫し、自分の表したいイメージを基に表現方法を工夫し、創造的に表現している。	地域のよさや四季の美しさなどを基に、表したいことを心の中に思い描き、形や色彩などを整理して構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	自己の主題を明確に持ち、創意工夫して実現しようと制作を楽しみながら意欲的に取り組んでいる。
題材終了時の生徒の姿 (題材のゴールの姿・期待される姿)			
御船町の四季の美しさから主題を生み出し、表現の意図や心情を大事に、自分の表現方法を追求して表現しようとする生徒			
題材を通した課題 (題材の中心的な課題)		本題材で働かせる見方・感じ方	
御船町の魅力を発信するオリジナルの和菓子を作成しよう。		感性や想像力を働かせ、和菓子の形や色彩の美しさなどの造形的な視点について考え、自分の表したいイメージについて向かい、自分の中に新たな意味や価値をつくりだすこと。	

##### 2 題材における指導計画と評価計画及び系統

学習指導要領における該当箇所 (内容、指導事項等)				
中学校学習指導要領 第1学年 〔知識及び技能〕〔共通事項〕(1)ア、「A表現」(2)ア(ア) 〔思考力、判断力、表現力〕「A表現」(1)ア(ア)、(1)イ(ア)、「B鑑賞」(1)ア(ア)、(1)イ(ア)				
教材・題材等の価値				
本題材は、日本の伝統文化である和菓子を取り上げる。和菓子に表現される、形や色彩の工夫による季節感の表現などのイメージを基に、オリジナルの和菓子の制作を行う。本題材の学習を通して、日本の文化に関する関心を高め、地域のよさや四季の美しさなどをイメージし、形や色彩を単純化して表現し創意工夫して積極的に取り組み、相互鑑賞を通して見方や感じ方をさらに広げ、自分の中に新たな価値、自分たちのふるさとに愛着や誇りを持てるような題材である。				
本題材における系統 (横軸を当該学年での他領域とのつながり、縦軸を他学年での同領域のつながり)				
(A表現) 私の体育館シューズ (絵画)	(A表現) なるほど! 絵文字 (デザイン)	(A表現) 四季をイメージしたオリジナル和菓子を作ろう! (工芸)		
		(A表現) 銘々皿		
		(A表現) 切り絵		
生徒の実態 (題材の目標につながる学びの実態)				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
デザインや工芸などの表現活動に対して興味がある。	19%	37%	28%	16%
日本の美術に興味がある。	21%	30%	43%	6%
作品を作る際に「このような作品にしよう!」とイメージして取り組むことができる。	26%	53%	9%	12%
友達の仕事や美術作品を見て、よさや美しさを味わうことができる。	32%	62%	0.6%	0%
■考察				
1年生は1学期に絵画、2学期に主にデザインを学習し、3学期で初めて工芸分野の学習を行う。知っている画家(作家)にはピカソやゴッホなどを挙げるが、日本の美術に対する興味関心はあまりないことがわかる。発想構想に関しては、79%の生徒が自分のイメージを大切に制作に取り組んでいることがわかる。発想に時間がかかり、苦手意識がある生徒も若干名いるため、発想の手立てを行う必要がある。鑑賞に関しては、よさや美しさを味わうことができる生徒は94%おり、鑑賞の楽しさを感じている生徒は多い。よさを味わい、さらにそれを相手に伝えたりする活動も行っていくことで鑑賞する喜びを今以上に感じることができる。				

##### 3 指導に当たっての留意点

- 鑑賞の学習との関連を図り、作家の心情や意図、表現の工夫などを読み取らせ、作者の作品に込めた様々な思いや主題を深く考えさせることで、生徒が自己の内面を見つめ、主題を生み出すことができるようにする。
- ふるさとである御船町を見つめ生み出された主題を設定することで、和菓子への制作意欲を向上させ、より質の高い作品を完成させることができる。
- 感じ取った作品の価値を、生徒同士で発表し合い、共有することで自分の気づかなかった作品のよさやすばらしさを発見し、より創造的な活動の楽しさを実感することができる。

#### 4 本時の学習

##### (1) 目標

和菓子に込められた美意識や季節感を感じ取るとともに、和菓子のよさや美しさを味わい、和菓子の役割について考えることができる。

##### (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 12枚の和菓子カードの鑑賞をし、順番に並べる。 ◇12枚あるので、月ごとに並べるのではないか。 ◇モチーフから合う季節を考えよう。</p> <p><b>【本時の目標(めあて)】</b> 和菓子のよさや美しさを味わい、伝え合うことができる。</p> <p><b>【学習課題】</b> ○和菓子を鑑賞し「和菓子の役割」や、形や色彩で何を表現しているのかについて考える</p>	<p>○和菓子のカードを並び替える活動を通して、和菓子には季節感が重要な要素であることに気付かせる。</p>
展開	30分	<p>2 和菓子職人の映像を鑑賞する。 ◇五感で味わうお菓子である。 ◇季節感を大切に作ってある。</p> <p>3 本物の和菓子を鑑賞し、表現されている四季を考え工夫点に気付く。 ◇ピンクなので桜を表現しているのでは。</p> <p>4 和菓子の役割、よさや特徴をワークシートにまとめる。</p> <p><b>【期待される学びの姿】</b> 和菓子を鑑賞する活動を通して、対話的な学びから形や色彩の表現などが表現する一つの要素となっていることに気付く姿。</p> <p>5 各グループで出した意見を発表する。</p>	<p>○和菓子を見ることに興味を持ち、創造的な表現の工夫などを探る活動を通して、形や色彩、香りなどの感情効果に注目し、表現意図を考えたりする。</p> <p>○和菓子に込められた思いや、日本の伝統を意識させる。</p> <p>○和菓子職人が何から発想を得ているのか、どのような思いで作っているのかなど、映像を基に制作上大切なポイントを共有する。</p> <p>○和菓子の持つ造形的な美しさだけでなく、そのイメージを読み取ることで日本人が大切にしてきた美意識に気付かせる。</p> <p>○対話的な学びから、自分の気づかなかったよさや表現の意図や創造的な工夫などを発見する。</p> <p><b>【具体的評価規準】思考・判断・表現</b> 和菓子から、造形的なよさや美しさなどを捉え、具体的にワークシートに記録している。(ワークシート・発言)</p> <p><b>【到達していない生徒への手立て】</b> ○友人の発表を聞くことで、様々な考えがあることを知り、見方や感じ方を深める。 ○多様な表現方法を知り、自分の主題を生み出すきっかけとする。</p>
終末	10分	<p>6 本時の学習を振り返り、これから学習する「和菓子」について見通しを持ち、次時へとつなげる。本時の感想を書く。</p>	<p>○本時の学習を通して感じたことや考えたこと、次時からの自分の作品についての考えをまとめる。</p>